資料－8

名取川水系河川整備計画の策定について
〔県管理区間〕

河川の維持管理について

1. 維持管理上の現状と課題
2. 維持管理における目標
3. 維持管理の具体的内容

平成20年10月14日

宮　城　県

1.維持管理上の現状と課題

(1) 河川管理施設の適切な維持管理

- 老朽化が進行している施設も多く、巡視や施設点検により**機能維持の確保**を図る必要がある。
- **宮城県沖地震**に備えた維持管理や対応が必要である。

昭和30年代に整備され老朽化が進む広瀬川の堤防

昭和36年に完成した大倉ダム

(2) 河道の維持管理

- 流下を阻害する中州･寄州などの**堆積土砂撤去、及び除草や樹木管理**が必要である。
- 地域住民や市民団体等と連携した美化活動などにより、地域に親しまれる川づくりへの取組みが必要である。

肥大化している愛宕堰下流中州

河道内に繁茂する樹木群

1.維持管理上の現状と課題

(3) 適正な河川空間の利用

- 巡視等により、河川区域内の**不法占用や不法投棄**の早期発見と指導の徹底など適正な管理が必要である。
- 河川公園等において、快適に利用してもらうための適正な管理が必要である。

澱地区の不法耕作（H16 ）

澱地区の河川公園及び遊歩道

(4) 渇水対策

- 渇水時においても**動植物の生息･生育環境を確保**する対策を講じる必要がある。

渇水時の郡山堰

減水区間となりやすい牛越橋上流

(5) 洪水管理

- 地域住民や沿川市町村、関係機関等へ迅速な情報提供を行う必要がある。
- 円滑な水防活動ができるよう、関係市町や水防管理団体等と連携強化を図る必要がある。

参考写真）洪水時の状況：洪水時には迅速な洪水情報の提供及び円滑な水防活動の実施が重要となる。

2.維持管理における目標

- 河川やダム等の管理施設の機能を維持していくために**巡視及び点検**を行い、**必要に応じて補修・更新を行う。**
- 巡視等に基づき、良好な河川環境の維持のため、**堤防等の除草**や、流下の妨げになっている**異常堆積土砂の撤去**や**河道内樹木の伐採**等を行う。
- 堰などの**河川工作物（河川管理者以外が管理する工作物）**については、**関係機関等と連携し、施設の機能維持に向けた取組み**を検討していく。
- 地域に親しまれる河川として**地域住民、愛護会、スマイルサポーターなどと連携・協力し、美化活動等の取組み**を推進していく。
- **渇水時**において、**動植物が生息・生育可能な水量確保の方策**に努める。
- **洪水や地震が発生**した際には、**迅速な情報提供や対応**等に努める。

3.維持管理の具体的内容

(1) 河川管理施設の維持管理

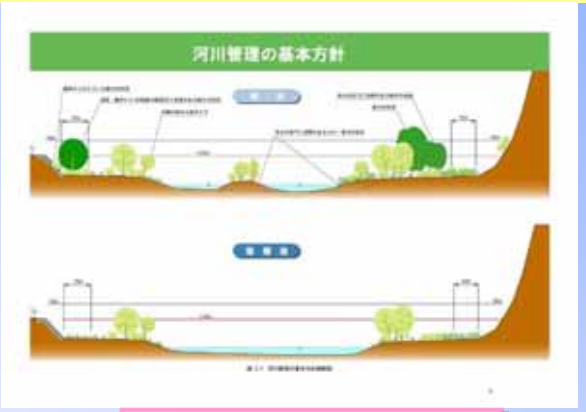
- 日常及び異常時(地震や洪水等)発生後の巡視や点検等により、堤防の異常箇所の早期発見と補修を行い、機能の維持を図る。
- 樋管など河川管理施設の点検、異常箇所の補修及び計画的な更新を行う。
- 雨量や水位などの水文観測施設を維持する。

(2) 河道の維持管理

- 流下の妨げになっている堆積土砂の撤去、河道内の樹木伐採等を実施する。
- 河川愛護団体やスマイルサポーター、ＮＰＯ等との連携･協働による除草や清掃等により、良好な河川環境の維持に努める。
- 日常や異常時(地震や洪水等)発生後の護岸等の状況を巡視し、異常箇所の早期確認と補修を行う。

スマイルサポーターによる河川清掃

堤防の除草



広瀬川管理計画

3.維持管理の具体的内容

(3) 適正な河川空間の管理

- 巡視を実施し、不法占用、不法投棄の防止に努め、対策を検討する。
- 広瀬川の高水敷に見られる不法耕作の防止、対策を検討する。
- 既存の河川利用施設の活用に向けた取組みを推進していく。

(4) 渇水対策

- 渇水連絡調整会議の開催により、関係利水者間の水利調整を円滑に推進するなど、関係機関等と連携し対応する。
- 大倉ダムの弾力的運用により、広瀬川の渇水時における流況を改善する。

河川パトロール

広瀬川宮沢緑地

大倉ダム弾力的運用による流況改善

3.維持管理の具体的内容

(5) 洪水管理

- 宮城県河川流域情報システム（MIRAI）による河川情報の提供など、地域と情報共有化を図る。
- 洪水ハザードマップを活用するための取組み等への支援を行う。
- 洪水時には、堤防や河川管理施設等の状況を速やかに把握する。また水防管理団体と連携し、異常箇所の早期発見に努めるとともに、越水等の恐れがある場合には、水防活動を行う。

(6) その他施設の管理

- 河川管理者以外が管理する河川工作施設等については、施設管理者や関係機関等と連携し、施設機能維持や施設周辺の河川環境の保全等に向けた取組みを検討していく。

3.維持管理の具体的内容

(7) ダムの維持管理

＜1＞ダム施設の機能維持の確保

ダム施設の点検を行い、必要により補修や更新など機能の維持確保を図る。

＜2＞地震への対応

地震の発生に対しては、気象庁や県･市町村と連携し、情報の収集･伝達や、管理施設の適切な操作を実施する。また、ダム施設の迅速な巡視、二次点検を行い、二次災害の防止を図る。

＜3＞ソフト対策

有事の際に適切な行動ができるよう避難訓練や災害訓練の実施を支援していく。

異常時等への備え及び今後の対応策について

(1) 施設の異常箇所の早期確認

・ 臨時点検（一次点検、二次点検）による異常箇所の有無を早期確認

(2) 異常時への備えや今後検討する対応事項

・ 停電時に備え、非常用発電設備の点検等を行う。

・ 堤体やゲート等の施設設備については、点検･巡視等により、日常から挙動を監視していく。

・ 湖周道路に被災があった際は、迂回路等により輸送及び避難ルートが確保されるよう、関係機関等と連携した検討を行っていく。

3.維持管理の具体的内容

(8) 自然環境の維持管理

- 景観や河川環境の保全のための取組みを実施する。必要に応じて専門家の意見や地域住民の意見等を反映し、景観、河川環境の保全に努める。
- 環境調査等を通じて外来種への必要な対策を実施する。

宮城県河川流域情報システム（MIRAI）

仙台市ハザードマップ

広瀬川に繁茂する外来種（クワモドキ）

(9) 市民団体･地域住民との連携

- 地域住民や市民団体、ＮＰＯ等との連携･協働による川づくり及び利活用方策等の検討を推進していく。

住民参加型での川づくり検討

広瀬川1万人プロジェクト